

天軍 (2005)

GENERAL OF HEAVEN
HEAVEN'S SOLDIERS

メディア 映画

ジャンル SF アクション 歴史劇

製作国 韓国

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2006/09/23

公開情報 エスピーオー

【キャッチコピー】

歴史を守るのは、英雄か？

それとも未来からきた男たちか…。

南北の軍隊が核兵器とともに、現代から16世紀性国時代へタイムスリップ！

製作費80億ウォンを投じたスペクタクル・アクション＝韓国版「戦国自衛隊」がいよいよ日本上陸！

【解説】

現代の韓国と北朝鮮の兵士たちが核弾頭と共におよそ430年前の戦乱の世にタイムスリップ、南北兵士が対立しながらも未曾有の危機に協力して対処していく姿を描いたSF歴史アクション。監督は本作が長編デビューとなるミン・ジュンギ。

2000年6月の歴史的な南北首脳会談を契機に、両国は共同で極秘裏に核兵器の開発に乗り出す。やがて核兵器“飛撃震天雷”が完成するが、諸外国の反発を招き、飛撃震天雷は2005年10月、アメリカに引き渡されることに。これに不満を抱いた北朝鮮のカン・ミンギル少佐は、核物理学者のキム・スヨンらを拉致すると飛撃震天雷から核弾頭を奪い逃走する。これを韓国軍のパク・チョンウ少佐率いる部隊が追撃する。両者が激しい銃撃戦を繰り広げる中、突如時空がゆがみ、南北軍人とキムは1572年へとタイムスリップしてしまう。彼らはそこで残虐な蛮族と対峙、手にしていた銃でそれを追い払ったことから、農民たちから“天軍”とあがめられる。やがて一行は、後に豊臣秀吉率いる大船団を撃破し英雄として朝鮮史にその名を刻むことになる若き李舜臣と出会うのだったが…。

【クレジット】

監督 ミン・ジュンギ

製作総指揮 チェ・ワン

脚本 ミン・ジュンギ

撮影 パク・チェヒョン

音楽 ファン・サンジュン

出演	キム・スンウ	Kim Seung-Woo	カン・ミンギル少佐
	パク・チュンフン	Park Joong-Hoon	李舜臣＝イ・スンシン
	ファン・ジョンミン	Hwang Jung-min	パク・チョンウ少佐
	コン・ヒョジン		キム・スヨン